

### 瑞浪クリエイション・パーク

#### 概要

**所 在** 瑞浪市山田町地内 団地総面積 262,830m<sup>2</sup> 区画面積 152,773.05m<sup>2</sup>  
**区 画** 19区画  
**完 成** 平成17年（2005）1月 分譲開始 平成17年（2005）5月  
**事業主体** 独立行政法人 中小企業基盤整備機構（中部支部）



### ダイキャスト東和産業株式会社

平成30年に瑞浪工場完成 **所在地** 瑞浪市釜戸町字洞田739番地4

平成30年に完成した工場で、12m四方セルのスペース内でインゴット溶解から完成までの工程を行う新方式を導入し、完全インライン生産を目指す最新鋭のダイカスト工場です。

品質と生産性と柔軟性の両立をコンセプトとし、新3Kと言われる「きれい」「きもちいい」「かっこいい」の実現を目指している。



### 司企業株式会社

司企業株式会社（愛知県豊田市）とは、令和元年7月8日に「企業立地協定」を締結した。

**所 在 地** 瑞浪市釜戸町3361番地の3 **土地面積** 29148.39m<sup>2</sup>

**建物面積** 事務所棟 3531.52m<sup>2</sup> 倉庫棟 1150.13m<sup>2</sup>

用地、建物は、旧釜戸中学校施設、敷地である。令和2年9月、岐阜釜戸営業所として開設した。



### 株式会社東美濃ビアワークス

クラフトビールで地元の活性化に挑む、株式会社東美濃ビアワークス（本社・瑞浪市釜戸町、東恵理子代表取締役社長）は、クラフトビール（地ビール）の製造・販売や地域資源を活用したビール関連事業を行うため起業し、令和2（2020）年4月に設立。令和2年11月12日に同社醸造所「カマドブリュワリー」（釜戸町中大島、大島橋近く）を開所した。

東恵理子社長は、瑞浪市釜戸町出身の元北海道テレビの報道記者で、まちづくり会社の立ち上げや、全国の地域活性化事業等を経験したことの集約として「世界のどの国にもビールはあり、ビールには人を集めることができる。以前、故郷の釜戸には何もないと思い離れたが、離れたことで、ふるさとの唯一性に気付くことができた」と話されており、地場産業と連携を取り、地元の陶芸家らと共同でビールに合う器の開発も進めている。クラフトビールを通じて、この地域に根差して活性化に力を注いでいる。



## 株式会社エイ・ダブリュ瑞浪

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社（愛知県安城市）が100%出資のA T（自動車用自動変速機）生産会社「株式会社エイ・ダブリュ瑞浪」を設立し、平成29年11月22日「企業立地協定」を締結した。

**所在地** 瑞浪市小田町1905番地 **土地面積** 22万4838m<sup>2</sup>

**建物面積** 工場棟 2万8800m<sup>2</sup> 事務棟 6000m<sup>2</sup>

**従業員数** 722人 (R3.4.1)

**事業内容** オートマチックトランクションおよび部品の製造・販売



また、令和3年3月5日「災害時における支援協力に関する協定」を締結。

今回締結した協定は、大規模災害が発生した場合に当社駐車場を一時避難場所および救援物資やライフライン復旧工事に必要な用地として提供し、救援物資については荷役支援することを定めたもの。

## 釜戸地区工事用地の分譲について

### 概要

平成26年（2014）6月10日 「工場等誘致に伴う協定」を株式会社生活の木と締結。

**所在地** 瑞浪市釜戸町字宿868番他

**分譲面積** 約 19,000m<sup>2</sup> 1区画

都市計画決定状況は、非線引き都市計画区域 用途指定 無指定

平成30年（2018）5月28日 「事業用地造成事業に関する協定書」を株式会社TREE OF LIFEホールディングスと締結。

※造成工事の工事請負契約の契約金確定後、速やかに土地売買契約書を締結することとした。

また、本協定書第4条3項にて保証金39,529,000円を預託する旨の内容となっている。

### 今後

令和2年11月の 生活の木事業用地 開発等工程表（予定）では、関連工事として

- ① 基盤整備済箇所の維持管理の仮設防災排水施設工事、外周の付帯工事
- ② 関連工事 市道梅本・森前線整備工事（国道19号接続）
- ③ 関連工事 市道梅本・森前線整備工事
- ④ 事業者自費工事 国道19号交差点改良工事 がある。

工場の規模は、「生活の木ガーデン・ファクトリー事業計画書」として

- ① 有機化粧品工場 敷地面積 6,921平方メートル
- ② ハーブガーデン 敷地面積 8,330平方メートル 等々と、当時発表されたが、今は白紙となっている。

### 課題

令和5年度末（令和6年3月末日）までの2年余の工期で造成工事、付帯工事完了予定。

令和6年度以降に、土地引き渡しの日から3年以内に建物等の建設工事に着手することとなるために事業の遂行を注視していかなければならない。